

平成 25 年度事業報告

平成 25 年 4 月 1 日～平成 26 年 3 月 31 日

子どもたちの生きる力を育むための教育育成支援活動として、以下の 3 事業(10 項目)を公益性の使命に応えるべく実施した。

- (1) 子どもの教育に関する教育支援事業
- (2) 子どもの教育に関する教育相談事業
- (3) 子どもの教育に関する教育研究事業

また、その他の事業として公益事業拡大のための収益事業や寄付金の募集を実施した。

不登校の小中学生に対する学校復帰を支援する事業については、段階的に集団性・社会性・学力を身につけることを意識したプログラムを全国で実施した。

5回目を迎えた「環境教育ポスターコンクール」は、回を重ねるにしたがって周知が向上し、各学校から優れた作品が多く寄せられた。最優秀作品に対し、環境大臣賞を授与することが認められるなど、当該コンクールは高い評価を受けている。

その他、広報活動については、会報誌の発行やホームページをより見やすいものに改善し、充実を図った。

平成 25 年度の活動の主な内容は、以下のとおりである。

1. 子どもの教育に関する教育支援事業

(1) 不登校児童・生徒の学校復帰に対する支援活動等

① 東京大志学園の運営

不登校の子ども達に対応する学校復帰支援の精度を上げるための「教育プログラム」、「スタッフの募集育成」、「情報発信」、「保護者連携」等活動を強化した。これにより小・中学生の学校復帰者は34名増加し192名となった。特に中学 3 年生の高校進学率については高校生ピアアシスタントの協力によるモデリング効果や受験対策プログラム導入が奏功し、平成 25 年度も99. 2%と高い実績を残した。

② 子どもへのかかわり、対処方法など親の役割を考える会「親の会」の開催

(2) 自然体験活動

① 親子宿泊体験教室の開催

「平成25年度引きこもり、不登校に対する支援活動」

---公益財団法人JKA 公益事業振興補助事業---

学校に行きづらいことで自信を失ってしまった子ども達に、学校復帰支援の一助とするため8月に関東と関西で87名の参加を得て実施した。また、子ども達の活動中に「親の会」を開催し、玉川大学教職大学院教授の田原俊司先生によるグループカウンセリングも行った。

② 「大志の森」親子自然体験イベントの開催

③ 課外活動「桜を見る会」の開催

④ その他の体験活動の場の提供

(3) ポスターコンクール

① 「第5回環境教育ポスターコンクール」の実施

子どもたちが環境について考え、社会生活の中で為すべきことを考える機会となることを目的とした「環境教育ポスターコンクール」を平成25年9月～26年2月首都圏西日本で環境省や各地の教育委員会等の後援を得て開催した。

(4) 中学生等の進路選択支援事業

(5) 教育施設の運営

① 高等学校通信課程等に在学する生徒のサポート校運営(鹿児島) → 高校生205名

(6) 海外体験活動の実施

① 海外教育事情の体験

(7) 定期刊行物の発行

2. 子どもの教育に関する教育相談事業

(1) 講演会、進学指導説明会・相談会、相談会

① 「教育シンポジウム」の開催

② 「不登校中学生保護者のための高校進路説明・相談会」の開催

③ 教育相談の実施 → 14 都道府県にて1, 283名参加

④ 日本家族心理学会 30 周年大会の共催 → 8/30～9/1 約 800 名参加

(2) 人材養成研修

① 学習心理支援カウンセラーの養成

② ピアアシスタントの養成

3. 子どもの教育に関する教育研究事業

(1) 子どもの育ちを考える会とシンポジウムの開催

① 「子どもの育ちを考えるシンポジウム」の開催 → 兵庫県にて 11/9

教職員・保護者他計105名参加

② 「子どもの育ちを考える研究会委員会」の開催 → 兵庫県にて6回開催。委員構成10名

③ 「生命(いのち)と心の教育研修会」の開催 → 兵庫県にて 8 月・1 月に計 41 名参加

(2) 乳幼児指導者養成研修の実施

乳幼児ケアヘルパー(初級)研修、子育て支援プロジェクトリーダー研修

4. その他目的を達成するために必要な事業

財団業務の安定性、健全性を担保するため、不動産賃貸事業(クラーク高等学院静岡校、クラーク高等学院さいたま校)を行った。また公益目的事業の拡充のため、寄付金を募集した。